

消費財メーカーのための シンガポール進出ガイド



シンガポールは グローバルな消費財メーカーに選ばれています

シンガポールはグローバル企業の地域統括、R&D、製造、サプライチェーンとイノベーション活動の一大拠点です。

日用消費財メーカー

トップ
 **10社**

化粧品メーカー

トップ10社のうち
 **8社**

食品・飲料メーカー



トップ20社のうち

16社

家庭用品、パーソナル・ケア
製品メーカー

トップ
 **6社**

スポーツウェアブランド

トップ
 **3社**

日本の消費財メーカー

明治

サントリー

資生堂

ポッカ

ピジョン

ライオン

アシックス

セイコー

シマノ

東芝

パナソニック

(例) 資生堂

シンガポールには資生堂のアジア太平洋地域の本社、トラベルリテールのグローバル本社、資生堂シンガポール支社、アジアラーニングセンター、APACイノベーションセンター、ライフクオリティビューティセンターがあります。

従業員数



250名
(17の国籍)

売上高



8億5000万

シンガポールドル
(アジア太平洋地域の2018年)

シンガポールで どのようにイノベーションを起こしているか

シンガポールは「世界イノベーション指数」で**アジア第1位**を誇るイノベーションハブです。



アジアで最も
革新的な国



スタートアップ
エコシステムで
東南アジア




約**5万人**の
研究開発人材

社内イノベーション



P&G

エンドツーエンドのグローバルイノベーションセンター。新製品やパッケージ開発、特定の製品カテゴリのソリューション開発

コ・イノベーション



A*STAR

日用消費財のグローバル企業や、他の研究機関、コンソーシアムとの、持続可能な包装に関するソリューション共同開発

オープンイノベーション



ロレアル

サステナビリティや都市居住の分野でアジア太平洋のスタートアップや中小企業とシンガポールでイノベーション・ランウェイを立ち上げ

シンガポールのデジタル能力

シンガポールはデジタル競争力ランキングで**世界2位(アジア1位)**を誇ります。

アジア太平洋地域のデジタル接続性



アジアにおけるIP保護



東南アジアのデータセンター容量の



54%



アジアにおける
大学トップ2
NUSとNTU

5,200社以上の
スタートアップ
フォーチュン
500社からのCoEs



22の
ケーブルシステム
279tbpsの
海底ケーブル容量

シンガポールの
デジタル
エコシステム

ユニリーバ
ファンドリー、
PayPal
Joint Labs など



消費財メーカーのデジタル活動



(例) ユニリーバとラザダの提携

目指すもの

東南アジア市場における
オンライン販売の拡大

内容

- One to One マーケティングで収益の掛け算
- 多様な支払い方法の確立
- 物流とインフラの課題解決

手段

	ラザダ	+	ユニリーバ
1 パーソナル化されたマーケティング	ウェブサイトのデータ収集		購買パターン分析と個人別のターゲティング
2 製品カテゴリ開発	製品販売データの提供		新製品販売におけるチャンネル戦略を決定するための洞察を使用
3 サプライチェーン&フルフィルメント	在庫管理と計画、配送方法の多角化、代引き払い		ラザダのプラットフォーム上に公式ストアを設置することも可能

シンガポールが 製造拠点に選ばれる理由

製造業は、シンガポールのGDPのうち**20%以上**を占めており、
多くの企業が製造拠点を設けています。

貿易の接続性



23カ国のFTA
36カ国の
貿易パートナー

市場へのアクセス



ASEANは**世界第5位**
消費者数**6億4千万人以上**

強力なIP保護



知財保護



例

明治

明治初の海外事業の一つである製菓工場、世界的な調達ハブ

ポッカ

ペットボトルの熱間充填プロセスも含む飲料製造工場

シマノ

東南アジア初の自転車部品製造用インテリジェント工場

キンバリークラーク

インダストリー4.0を取り入れAPAC諸国に輸出するシンガポール工場

※2020年11月時点の情報です。